

# 紀の川ダム統合管理事務所の取組状況 (猿谷ダム試行運用の実施)

取組機関名	紀の川ダム統合管理事務所
具体的取組	猿谷ダム下流の洪水被害の軽減に関する事項
主な内容	猿谷ダム試行運用の実施

## ○試行運用の目的・貯水位管理

- ・ 目的：猿谷ダム試行運用は、下流の洪水被害の軽減を図るため、あらかじめ空き容量を確保して洪水時の放流量を低減することを目的とする。
- ・ 貯水池管理：試行運用期間 9月1日～10月31日  
※上記期間において、これまで大きな洪水が発生しており、利水への影響の無い範囲で目標水位を設定

期間① (9月1日～9月15日)

貯水位管理 426mを目標に水位維持し貯水位の管理を行う運用

期間② (9月16日～10月31日)

貯水位管理 426mを超えている場合に、次のいずれかの条件に該当する時に、426mを限度として貯水位を低下させる運用（事前放流）

### ○条件

- 一 台風の中心が、東経128度から138度の間で北緯24度以北に達し、猿谷ダムに接近が予想され、かつ、気象庁MSM数値予測モデルの予測雨量と実績雨量による一連の雨量の9時間累積雨量が130mmを超えると予測されるとき
- 二 猿谷ダムの最大流入量が毎秒1,000m<sup>3</sup>/sを超えると予想されるとき
- 三 気象、水象その他の状況により、所長が必要と認めるとき

## ○令和4年度試行運用期間の貯水池運用状況

- ・ 令和4年8月中旬から8月末にかけては、試行運用に向けて電源開発株式会社と分水量を調整し、貯水位をEL.426.0mを目標に低下。
- ・ 令和4年9月1日から9月15日までは貯水位をEL.426.0mを目標に管理し、9月16日から10月31日についても、電源開発株式会社・農水省と調整を行い、分水量を決定。

### 施行運用期間の猿谷ダムの貯水池運用

